

まちの話題



「おいしいよー」

お母さん達の宇コロッケも大人気でした

10/25 まさかの時のために 危機管理は万全に 原子力防災模擬訓練



真剣な顔で避難訓練

十月二十五日(金)八時三十分、伊方発電所で一時冷却設備から一時冷却材の漏洩が発生し、外部に放射性物質が放出される恐れがあるとの想定で、県、伊方町、保内町との合同防災訓練が行われました。

三机地区では、保育園児が地区の消防団員や町職員の誘導で、遊んでいた近くの公園から町民センターまで避難訓練を行い、訓練後、消防署第一分署の職員から災害時の心構えについての話を熱心に聞き、また「避難のとき、なぜタオルを口に当てるのか」とか、「なぜ、建物の中に避難するのか」「火事の時はどうしたら



町役場での災害対策本部会議の様子



「ただ今、準備中で～」

へ移動。いつものまにか各教室にそれぞれ可愛い飾り付けがされたショッブが開店し、参加者は事前に配られた十円、五十円、百円札などに、手作りの紙幣で二百五十円分の買い物ができるといふ楽しいシステムで、皆童心に返り宇のグラタン、ポッキー、コマ団子、モンブランなど、各店頭にも並べられた数々の料理の中から迷いながらお目当ての品を買い求めています。中には長い行列ができ、児童が汗だくで対応に追われている人気ショップもあり、「一味も工夫もすばらしい」と招待された皆さんにも好評でした。

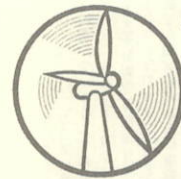
10/29 工夫料理で いももパラダイス

塩成小学校(阿部美恵校長以下児童二十九名)では、児童が自分たちで苗植えをし収穫した芋を使って多数の工夫料理を作り、地元のお年寄りや保育園児、保護者などを招待しました。

十月二十九日(木)午後、講堂で行なわれた「いももパラダイス」で児童たちは、会場いっしょに集まった招待客といっしょにゲームを楽しんだり、これまで学校行事等でお世話になった方々に感謝状や手作りプレゼントを贈ったりと心温まる交流を

しました。

その後、いよいよ料理の披露となり児童の準備が整えるのを待って教室



広報

せと 11

風車のまわるアジナ

2002
平成14年

No. 354



芸能文化祭盛大に

10月26日(中)、27日(木)の両日、芸能文化祭が行われ、町民センター1、2階には町内の保育園児、小中学生の書道・絵画作品や町民の手芸、陶芸、生花、写真などの作品が展示され、27日には郷土芸能や民舞の発表、また青年団によるバザー、町婦人会によるコーヒーコーナーが設けられるなど会場は終日賑わいました。

会場の町民センター前で9時30分から行われたオープニングセレモニーでは塩成の唐獅子が披露され、集まった観衆から大きな拍手を浴びていました。また、朝から雨が降りしきり寒気が一気に訪れたこの日、会場前で町産業課職員が早朝から威勢のよい音を響かせながらついたつきたでの餅が見物客に振舞われ、大変喜ばれていました。(関連記事、公民館だよりに掲載)

今月の主な内容

まちの話題	2~4
シリーズ市町村合併	5
職員給与公開	6~7
三崎高校だより	8
みんなの作品	9
お知らせ	10~11
住民の動き・年金だより	12



世代を超えて理解を深めよう 中学生と老人が交流会

11/11

十一月十一日(明)、瀬戸中学校(井上丈夫校長以下生徒八十二名)で老人と生徒の交流が行われ、生徒達はスポーツや料理作り、花の植栽など多方面にわたって人生の大先輩である老人の方々に多くのことを学びました。老人たちは自分の孫のような生徒に接し、楽しそうに、生徒達もお年寄りに対する尊敬やいたわりの気持ちが現れ、穏やかな優しい表情でスポーツを楽しんだり共同作業を行っていました。その後、参加した保護者も含め、手料理を囲み親睦会が行われ相互の理解と交流を深めていました。



加藤竜吉さん大臣表彰受賞

この度、加藤竜吉さん(三机)が十一月十日(日)、徳島県で開催された内閣府・徳島県主催の「心豊かな長寿社会を考える国民の集い」で内閣府房長官よりエイジレス章を受賞されました。この章は「高齢者が年齢にとらわれず、自らの責任と能力において自由に生き生きと生活を送っている一方に贈られるもので、加藤さんは現在八十八歳ながら、何でもボランティア活動を行なっています。加藤さんの目標は「百歳までボランティア活動を続けていくこと」だとか、ますますお元気でご活躍されますよう、またボランティアの輪が地域に広がることをお祈りいたします。



澄んだ歌声に観客聴き入る 町内音楽発表会

11/14

町内の小中学校の児童生徒による町内音楽発表会が十一月十四日(日)、町民センターで開催され、合唱と合奏の部で美しい歌声と音色が披露されました。どの学校も今日まで担当の先生方の指導の下、熱心に練習を積み重ねてきた成果がよく現れ、澄んだ歌声と美しいハーモニーに観客はうっとりとした聴き入っていました。合奏でも難しいメロディと楽器を事に弾きこなし観客から惜しまない拍手が送られました。



あら!まあ・・・ 変わったお芋!

生産者 中田静子さん(川之浜) 十月末のある日、川之浜地区在住の中田静子さんから「変わった芋ができましたよ。見に来てみませんか」と連絡をいただきました。早速伺い、珍しい「芋」を写真に収めさせてもらいました。秋の収穫物の中でも庶民的で人気の高い芋ですが、「今年はちよっと不作だった」と中田さんは残念そう「それでも、中にもおもしろい六つ子の芋が獲れてなあ」と、笑って話して下さいました。

町民の声を行政に! まちづくり懇談会を開催

町民参加の町づくりを目的に例年開催している「まちづくり懇談会」が今年も十一月五日を皮切りに各地で進められています。



志津地区懇談会

今年の主要テーマは 市町村合併問題

会の冒頭、町長より今年三月の町民アンケートを踏まえて表明した「半島四町合併」の方向が、「伊方町との二町合併」に移行してきた大筋の経過説明、また、伊方町・瀬戸町合併協議会での議論の状況について報告があり、これを基に町民の皆さんとの意見交換が進められています。主な質問・意見として、新しい町の名前は? ・新しい町の名前は? ・役場本庁の設置場所は? ・三崎町の動向は? 等々、合併が具体化したきたことを受け、現実味のある質問や意見が相次ぎ、全体では、合併により日常生活が不便になったり、行政サービスが低下しないよう、しっかりとこの協議を進めて欲しいとの意



町長と膝を交えて懇談 (田部地区)

見を集約されています。また、まちづくりに関する要望では地区内道の整備要望が数多く出され、高齢社会に対応できる安心、快適な環境整備への要望が際立ちました。なお、本年の懇談会から「あらゆる機会を活用した学習の推進」をモットーに、人権・同和教育も並行して実施され、明るく住み良い町づくりへの啓蒙行われています。区長さんには懇談会の周知や会場の準備等で大変お世話になりました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

瀬戸町同郷会(関東地区)に参加して

役場建設課課長補佐 富永 正司



楽しい思い出にみんな揃って記念撮影

去る十月二十七日(日)、東京の新宿で第二十三回関東瀬戸町同郷会が開催され、三十九名の参加により和やかなムードで昔話に花が咲き、楽しい一日を過ごしました。本会の始まりは、当初三机

関東瀬戸町同郷会開催

関東瀬戸町同郷会 清水 利文

去る10月27日(日)、新宿日本料理三平にて12時半より井上町長と建設課富永正司さんの出席を頂き、懇談会が約3時間程行われ、出席者は同郷の想い出話で盛大な宴会となりました。



瀬戸町職員の給与を公表します (4役及び医師を除く)

①職員の平均給料月額、平均年齢の状況 (平成14年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
瀬戸町	351,391円	43.9歳
国	382,866円	40.9歳

②職員の初任給の状況 (平成14年4月1日現在)

区分		瀬戸町		国	
		決定初任給	採用2年経過日給料額	初任給	採用2年経過日給料額
一般行政職	大学卒	163,800円	181,400円	174,400円	188,900円
	高校卒	141,900円	151,800円	141,900円	151,800円

③職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (平成14年4月1日現在)

区分		経験年数		
		3～5年	15～20年	20～25年
一般行政職	大学卒	188,900円	281,600円	359,600円
	高校卒	181,400円	225,400円	315,500円

(注) 経験年数とは、卒業後あたりに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいうものである。

④級別職員数の状況 (平成14年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な職務内容	主事補	主事	係長	係長	課長補佐	課長	総務課長	
職員数(人)	2	11	21	17	16	7	3	77
構成比(%)	2.60	14.29	27.28	22.08	20.78	9.09	3.90	100.00

⑤昇給期間短縮の状況

年度	区分		人数
	職員数(A)	昇給期間(12～24月)を短縮して昇給した職員(B)	
13年度	職員数(A)		79人
	昇給期間(12～24月)を短縮して昇給した職員(B)		6人
	比率(B/A)		7.59%
12年度	職員数(A)		80人
	昇給期間(12～24月)を短縮して昇給した職員(B)		10人
	比率(B/A)		12.50%

⑥職員手当の状況

区分	瀬戸町		国	
	(平成13年度支給割合)		(平成13年度支給割合)	
期末手当 勤勉手当	6月期	1.45月分	6月期	1.45月分
	12月期	1.60月分	12月期	1.55月分
	3月期	0.50月分	3月期	0.55月分
	計	3.55月分	計	3.55月分
		1.15月分		1.15月分
	職制上の段階、職務の級等による加算措置有		職制上の段階、職務の級等による加算措置有	

(6)



井上町長の開会あいさつ

去る十月二十二日、役場大会議室において第二回目の五十人委員会が開催されました。今回の会議は、九月十七日に開催された「伊方町・瀬戸町合併協議会」の第一回会議の結果を受けて開催されました。委員長である阿部好晴氏が

「第一回の委員会より二ヶ月が経過し、その間に「伊方町・瀬戸町合併協議会」が九月六日に設立され、各小委員会及び専門部会の編成も行われていきます。今後は具体的協議が本格化してくるので、住民の意向が充分尊重されるよう協議願います」と挨拶。又、井上善一町長は、「任意協議会とは、結婚にたとえればお見合いの席に着くようなもので、今後は合併という名の結婚へと進むことになる。十二月議会で法定協議会移行への承認を受ける予定である。」と挨拶され、その後、議事に入りました。

第一回合併協議会の資料に基づき説明が行われました。内容としては報告が、伊方町・瀬戸町合併協議会幹事会規定ほか四件、議案として、伊方町・瀬戸町合併協議会協議運営規定ほか四件が原案通り決定した旨の説明がされました。続いて協議事項として、第一号の合併の方式及び第二号の合併の期日について協議した結果、それぞれ合併の方



熱心に説明に耳を傾ける委員の皆さん

式については、「対等合併」に合併の目標期日については「平成十六年十月一日」とする。なお、合併期日については、改めて協議する旨の説明がされました。終了後、委員長より説明の内容についての意見を求めたが、特になく確認されました。

今回は、「伊方町・瀬戸町合併協議会」の会議結果報告のみの内容でしたが、次回以降については、総務・住民・行政・企画の四つの部会に分かれ、それぞれの部会ごとに本格的に協議していただくよう計画しています。

12月1日から燃えるゴミの分別方法が変わります

八幡浜市環境センターへ

注意 ごみの分別方法が変わります

ダイオキシン類対策特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律が規制強化され、より厳しい排出基準が適用されることから、これまで本町のごみ焼却場で処理していた燃えるごみは、十二月一日より八幡浜市環境センターへ搬入することになりました。(土曜日三、四、六) これに伴い、先般より各地区での説明会でもお知らせ済みであり、従来のごみの分別方法が次のように変わりますのでご注意ください。

- 変置前 燃えるごみ
 - 変置後 プラスチック類
- ※注 現在、プラスチック用の指定袋がないため、当分の間発泡スチロール用の指定袋を併用します。
- リン類等のふた・ペットボトルのキャップ類・小物の金属類・刃物・電池等については、レジ袋等に入れ、粗大ごみ用指定袋に入れて出す。

【出し方】

- 軽く水ですすぎレジ袋等に入れ、発泡スチロール・食品トレイ(白色のみ)と分けて、発泡スチロール用の指定袋で一緒に出す。

ごみ処理の経費は貴重な税金で賄われます。ごみの減量化にご協力下さい。

詳細については問い合わせは、役場町民課環境係まで。(五二一〇一一)

(5)

区分	瀬戸町			国		
退職手当	(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
	勤続20年	21.0 月分	28.875 月分	勤続20年	21.0 月分	28.875 月分
	勤続25年	33.75 月分	44.55 月分	勤続25年	33.75 月分	44.55 月分
	勤続30年	41.25 月分	54.45 月分	勤続30年	41.25 月分	54.45 月分
	最高限度額	60.0 月分	62.7 月分	最高限度額	60.0 月分	62.7 月分
	その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (2~20%加算)			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (2~20%加算)		

時間外勤務手当	13年度	支給総額	7,358千円
		職員1人当たり支給年額	96千円
12年度	支給総額	10,233千円	
	職員1人当たり支給年額	126千円	

区分	内 容	国との制度の異同	国の制度と異なる内容	
扶養手当	A 配偶者 16,000円	同		
	B 配偶者以外			
	① 2人までそれぞれ 6,000円 職員に扶養親族でない配偶者がある場合は、そのうち1人について 6,500円 職員に配偶者がいない場合は、そのうち1人について 11,000円 ② ①以外1人につき 3,000円 ③ 満16歳年度初年から満22歳年度末までの間にある子1人につき5,000円を加算			
住居手当	A 職員の居住する借家、借間	同		
	① 月額23,000円以下の家賃を支払っている職員 家賃の月額から12,000円を控除した額 ② 月額23,000円を超える家賃を支払っている職員 家賃の月額から23,000円を控除した額の1/2 (その控除した額の1/2が16,000円を超えるときは16,000円)を11,000円に加算した額 B その所有に係る住宅に居住している職員で世帯主である場合 月額1,000円(ただし、新築し又は購入した住宅に係るものについては、当該新築又は購入の日から起算して5年間は2,500円)			
通勤手当	(自動車等の使用者) 使用距離が	同		
	片道 5km未満			2,000円
	5km以上10km未満			4,100円
	10km以上15km未満			6,500円
	15km以上20km未満			8,900円
	20km以上25km未満			11,300円
	25km以上30km未満			16,100円
35km以上40km未満	18,500円			
40km以上	20,900円			
その他交通機関等の利用者についても支給制度有				

三崎高校だより

去る十月十三日(日)に、文化祭を開催しました。今回はその様子を報告します。

午前中は、クラス対抗合唱コンクールが行われ、各クラスが練習の成果を発表しました。結果は次のとおり。

最優秀32R 優秀31R

合唱コンクールに引き続き、まず音楽発表会が行われ、小人数ながらも迫力あふれる吹奏楽部の発表のあと、本校教員によるクラシックギターの独奏が行われました。また、外部講師による能楽囃子の演奏では、日本の伝統音楽に接する貴重な機会を得ることができました。

この他にも、文化部による展示や発表が行われ、クラスごとや有志による各種バザーも開かれました。また、三崎町老人クラブや、保護者の方の協力で、なかなか「芋だんご」や、磯ものをふんだんに利用した「にませ」を作っ

ていただき、大変好評でした。遠く高知県からのお客さんにも味わっていただきました。

「初めての文化祭」

一年二組 富士原香恵
(川之浜出身)

十月十三日、三崎高校の文化祭が行われた。私にとって初めての文化祭だったので、とても楽しみにしていた。

午前中は、クラス対抗合唱コンクールがあった。練習期間が短かったけれど、一人一人ががんばって歌えていたと思う。また、吹奏楽部の演奏があり、部員である私はサックス担当で参加した。高校に入ってから二度目の発表の場だったのでとても緊張した。所々間違えたりもしたけれど、最後まで無事演奏できてよかった。

午後からはクラスでバザーをした。私たちのクラスは



吹奏楽部の発表



12Rによるバザー

「お好み焼き」を作った。初めのうちはお客さんの列が途切れないほどたくさんの人に食べてもらえた。予想以上のお客さんの数に驚いたけれど、とてもうれしかった。

「22R有志のバザー」

二年二組 井上裕二
(高窪出身)

僕は22Rの有志という形で文化祭で、焼きそば、アイスクリーム、ジュースを販売しました。僕のほかに三人のクラスメートも手伝ってくれ、四人でした。

前日までの準備として、まず材料や道具を集めるために、夏休みにアルバイトでお世話になったところへ行き、アドバイスをもらいました。仕入れや、調理の要領などとても参考になりました。材料がある程度そろってからは、実際に作ってみました。商品として調理するのは、家でやるのとは違ってとても気が遣いました。

いよいよ当日。調理に入る直前、前日までに準備した野菜が半分くらいだめになって、あわてて野菜を買いに行き、急いで切りました。そしてなんとか最初の焼きそばができ



た頭、次々にお客さんが買いにきてくれました。僕たち四人では人手が足りなくて、途中からクラスの友達も何人か手伝ってくれました。でも、忙しさのあまりお客さんの順番が分からなくなり、会計の際に混乱してしまったり、アイスクリームが溶けてジュースになったりとハプニングだらけでした。

文化祭が終わって今思うことは、今度もバザーをするときは、整理券を作ること、人手を十分に用意しておくこと、前日までに準備した食材は冷蔵庫に入れておくことなど、たくさんのお客さんやクラスメートにも本当に感謝しています。

焼きそばを買ってくださったみなさん、本当にどうもありがとうございました。

戸籍の窓

平成14年10月分

この掲載は、市内に住所があり直接届出された分のみです。

お誕生おめでとう

生 年 姓 名 性別 年齢

おくやみ申し上げます

生 年 姓 名 年齢

平成14年10月末現在

- 人 口 2,697人 (↑ 9)
 - 男 1,268人 (↑ 6)
 - 女 1,429人 (↑ 3)
 - 世帯数 1,143戸 (↑ 5)
- ()内は先月の比較

※広報に掲載不要な方は、届出時に申し出て下さい。

わが家の愛ドル

(小息)
中田 友美 さんの子



七五三で晴れ装を着ておすましの優生ちゃん

なつた まろ
中田 優生ちゃん
(平成12年7月31日生まれ)

毎日、妹とお姉ちゃんと忙しく遊んでケンカして、たくましく育っています。いつまでもババが大好きな元気な優生でいて下さい。

—ババ、ママより—



右、美佳 (みゆ) お姉ちゃん「うーん、はやくてつばう、じょうずにやりたいなあ」

年金コーナー

国民年金の納付は
国民の義務です。日本国内に住所のある二十歳以上六十歳未満のすべての方には、国民年金への加入が義務づけられています。ところが最近、加入していても保険料を納めない人が増えていることから、「国民年金はつづけるのではないかと心配する声がよく聞かれます。しかし、未加入者と未納者を合わせた数は、被保険者全体の五割に達しません。また、社会保障方式をとる国民年金では、保険料納付に応じて年金額が決まるので、未加入・未納期間については将来の年金給付は少なく、(かたまり)は生じない仕組みです。

保険料を納めない人の増加が、公的年金の財政を大きく揺るがし制度を崩壊させる、という状況にあるわけではありません。だからといって、「自分は年金が貰えなくてもいい」、だから「保険料を納めないのもいい」ということにはなりません。保険料を納めない人は、世代間扶養という社会連帯の輪の中で、自分の義務を果たしていないばかりではなく、他人の保険料によって自分の親の老後を心配しないでいいという、公的年金の恩恵だけを受けていることになるからです。また、未加入・未納者が増えると、保険料が上昇し、連帯して保険料を納めている人に迷惑をかけることにもなります。

国民年金への加入、保険料の納付は自分だけの問題ではないのです。必ず加入し、きちんと保険料を納めましょう。

なお、経済的な理由などにより保険料を納めることができない人のために、保険料の免除制度があります。この制度を利用するためには、申請手続きが必要です。詳しくは、役場市民課、または社会保険事務所にお問い合わせください。

ゆうちょんだより

〇年末年始 郵便ラッシュ
年末年始は一年中一番の郵便物のラッシュになります。この時期郵便局では、多数のゆうメイトの協力を得て迅速配達に努めています。十二月中旬になりますと、大量の郵便物が殺到すると予想されます。

郵便番号は正しくはつづきりと、宛名は番地、〇〇様、団地名、アバト名、棟番号や室番号までお書きください。よろしくお願ひします。

尚、年賀状の差し出し開始は十二月十五日となっております。一月一日に差込年賀状が届くよう出来るだけ十二月二十五日までにお出し下さい。

きこえる銀行

次の方から故人が生前お世話になったお礼として、地域福祉活動に役立てたいとご寄付をいただきました。紙上より厚くお礼申し上げます。

川之浜 佐々木直子 様
仁天 権市さん 様
瀬戸町社会福祉協議会

お礼

志願の公益費用として次の方々よりご寄付頂きました。紙上より厚くお礼申し上げます。

東京都 古見 富子 様
北九州市 木野 富生 様 様

みんなの作品

楽器の色ぬりがむずかしかったです。工夫した所は、楽器です。この絵で韓国に行けたのでうれしかったです。



「国境なき国境プロジェクト」入選作品
三机小学校四年生
長岡 良樹くん



「行かんハハミモカをく友だち」
作品名



大久小学校三年生
成本 積くん



「アコーディオンをひく友だち」
作品名

アコーディオンをひいている感じがよく出せるように、じやばらのひらき方や、けんばんをひく手をよく見てかきました。

石油ストーブの安全な取扱い

寒い冬が到来し、暖房機器を使用する機会が多くなってきたと思います。燃料な暖房器具ですが、取扱い方法を一つ間違えると、火災の起こる原因となります。特に、石油ストーブによる火災は毎年多く発生していますので、取扱いには十分注意しましょう。

石油ストーブ使用時の注意点

燃えやすいものを近くに置かない 	ストーブをつけたまま寝ない
火がついたまま持ち運ばない 	ストーブに近づきすぎない
確実に火を消してから給油する 	違う燃料を給油しない

上記のことに留意し、安全で快適な生活が送れるよう地域住民が一元となって、「火災のない町づくり」を目指していきましょう。

八幡浜地区消防署 第一分署